

## 今週の News

1. 全まち 2022in 東京・すみだ の開催概要
2. これからのまちづくり研究会 第 2 回研究会の案内
3. 全まち 2022in 東京・すみだ エクスカーションの案内
4. 全まち 2022in 東京・すみだ プログラム紹介

### ■全まち 2022in 東京・すみだの開催概要

「全まち 2022in 東京・すみだ」のプログラムが概ね確定しました。今年度は10月8日(土)、9日(日)の二日間にわたって約20のセッション・イベントが企画されています。

開催場所は東京都墨田区に昨年春に開設された千葉大学墨田サテライトキャンパス。東武亀戸線小村井駅より徒歩5分、東京メトロ半蔵門線・京成押上線押上駅、東武伊勢崎線曳舟駅より徒歩15分程度の位置にあります。

①開催日時: 令和4年10月8日(土)、9日(日)

②開催場所: 千葉大学墨田サテライトキャンパス  
東京都墨田区文花 1-19-1

参加費: 無料、どなたでも入場、参加できます

③開催内容、プログラムなどは下記ウェブサイトから  
<https://www.jsurp.jp/zenmachi2022/>

### ■これからのまちづくり研究会 第 2 回研究会の案内

延期となっている第 2 回「これからのまちづくり研究会」は次の日程で開催されます。第 1 回に引き続き、「奈良県十津川村における村づくりプロセス」をテーマとして、3 回連続セッションの第 2 回目になります。

①日時: 9月 21 日(水) 18 時 30 分～20 時

②開催場所: 東京大学工学部 14 号館(+オンライン)  
参加費: 無料

③テーマ: 村再生のための「高森のいえ」プロジェクト

④当日の進行:

○話題提供: 金丸宜弘(環境設計研究所)

○ディスカッション: 大須賀芳雄(奈良県)、乾耕輔(元十津川村)、金丸宜弘(環境設計研究所)、蓑原敬(都市プランナー)、丸山宏司(国土交通省)

○コーディネーター: 真鍋陸太郎(東京大学)

⑤主催、問合せ・申し込み先

・主催: 認定 NPO 日本都市計画家協会

・申込方法: 以下のメールアドレスへ、【JSURP これからのまちづくり公開研究会への参加希望】というタイトルで、【①所属、②お名前、③会員の有無、④参加方法(会場参加かオンライン参加か)、⑤連絡先のメールアドレス】をご連絡ください。

申込先メールアドレス: nakagawa@artep.co.jp (JSURP 常務理事中川智之)

・受付締切日: 2022 年 9 月 20 日(火) 12:00 迄

・会場定員の都合上、会場参加の申し込み多数の場合は、オンライン参加をお願いする場合があります。後日、Zoom の URL を送付させていただきます。

### ■全まち 2022in 東京・すみだエクスカーションの案内

#### 【開催主旨】

全国まちづくり会議 in 東京すみだにおける地元関係セッションに関連づけたまち歩きガイドツアー6コース用意しました。

#### 【開催概要】

日時: 2022 年 10 月 8 日(土) 09:30～11:30 荒天中止

参加費: 2,000 円(イヤホン代等を含む)

定員: 15 名/コース

申込方法: 墨田区観光協会の公式サイトにて9月中旬からネット予約開始

受付締切日: 2022 年 10 月 05 日(水) 17:00 迄(ただし、定員になり次第受付締切)

URL: 墨田区観光協会 <https://visit-sumida.jp/>

#### 【コース】

①白鬚東防災拠点再開発の歴史をたどる ガイド: 坂井遼(マヌ都市建築研究所統括主任研究員)

9:30 東武鐘ヶ淵駅前集合、11:30 白鬚橋東/都営バス停留所解散

災害と防災に向き合った多聞寺と木母寺をめぐるつつ、悠久の歴史と大規模再開発事業の防災空間を体感します。

②京島のモクミツ改善の今 ガイド: 藤賀雅人(工学院大学まちづくり学科准教授) + 高山徹也(明治大学院生)

9:30 京成曳舟駅東口集合、11:30 京島三丁目原公園解散  
木造密集市街地の改善事業の長年の成果を辿りながら、新築住宅の開発現場を見て歩きます。

③路地尊とまちの雨のゆくえ ガイド: 笹川みちる(NPO 雨水市民の会理事)

9:30 東武曳舟駅改札口集合、11:30 たから会館解散  
一寺言問と京島の両地区の雨水活用施設をめぐる、小規模分散型の雨水管理と防災まちづくりを考えます。

④向島の町工場めぐり ガイド: 安森亮雄(千葉大学教授) + 村山香菜子(同大学院生)

9:30 集合場所未定、11:30 千葉大学墨田サテライトキャンパス解散(予定)

町工場のフィールドワークの成果をもとに向島のまち並みめぐり、途中で工場見学やお話を伺います。

⑤京島の長屋再生とアート ガイド: 嘉藤笑子(向島学会副理事長)

9:30 京成曳舟駅西(押上方面)改札口集合、11:30 踏切長屋(文花三丁目)解散

クリエイターたちが移転し長屋を改装したアート拠点が増加。展示会場やショップ、スタジオ等に再生した様子を見ます。

⑥向島のトマソンとドンツキ探し ガイド: 北條元康(向島学会理事長)、齋藤佳(ドンツキ協会会長)

北條氏と齋藤氏が路上観察してきた掘り出し物のトマソン(B級建築)とドンツキ(行き止まり路地)を案内します。

#### 【主催/協力】

NPO 法人向島学会、墨田区観光協会

#### 【問い合わせ先】

認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

Email: jimukyoku@jsurp.jp

■全まち 2022in 東京・すみだ プログラム(8月24日版:詳細版は <https://www.jsurp.jp/zenmachi2022/>へ)

	1階			2階		3階		4階	館外	
	エントランス	会場1	会場2	会場3	会場4	会場5	会場6	アトリエ	(電気湯)	
10月8日	9時30分	エクスカージョン(6コース:9時30分~11時)								
	13時	0.パネル展・ポスターセッション							1.開会式 2.オープニングセッション	
	16時		19.アフターコロナの観光とまちづくり	17.まちビト・トーク#12	4.モクミツのこれまでとこれから		11.パブリックベースマップ公開企画会議	14.水辺セッション		3.銭湯から考えるまちの継ぎかた
	18時							00.懇親会		00.懇親会(2次会)
10月9日	10時	0.パネル展	18.多摩地域の郊外住宅地交流セッション	6.雨水活用・グリーンインフラ・マイクロインフラ	5.ものづくりまちづくりセッション		16.いま語る「私がいままちづくりに関わる理由」	10.高野公男追悼セッション		
	12時		お昼の休憩							
	13時			7.大学のあるまちづくりセッション	15.新しいプランニングフレームの提案	20.子育てまちづくりフォーラム	13.50年後を見据えた東京の復興ビジョン	9.浅草〜スカイツリー間のまちづくり		
	15時			21.日中韓交流まちづくりセッション	8.これからのまちづくりファンド		12.防災を考える/過去から未来へ地域から世界			
	17時							22.クロージングセレモニー		

■全まち 2022 in 東京・すみだの主なセッション紹介

**NO4 モクミツのこれまでとこれから**

●趣旨:最近変貌著しい墨田区京島地区のまちづくりを題材に、モクミツのこれまでとこれからについて語り合う。

●プログラム

第1部:プレゼンテーション

山本俊哉:京島のまちづくりのこれまでと今

紙田和代:京島らしさも安全性も追求していくことは可能か

第2部:パネルトーク

椎名康明(墨田区防災まちづくり課)「墨田区の立場から」

金井潤一(UR 密集市街地整備部)「URの立場から」

大崎 元(向島学会)「地域福祉の視点から」

坂井 遼(マヌ都市建築研究所)「若手プランナーから見て」

加藤孝明(東京大学)「防災研究者から見て」

紙田和代(ランドブレイン)

山本俊哉(明治大学):コーディネーター

**NO16 いま語る「私がいままちづくりに関わる理由」**

●趣旨:全国津々浦々で、まちに関わりながら暮らしている人たちが集い、まちづくりのワクワクドキドキ喜怒哀楽を語り合います。まちづくりに関わっている方や、これからまちづくりに関わってみたい方も、ぜひご参加ください。出入り自由のフィッシュボウル型の双方向セッションです。

●プログラム

1)基調トーク:北海道、神奈川、静岡、福岡、瀬戸内各地より

2)トークセッション:フィッシュボウル形式で参加者が自由に思いをトーク

3)クロージング/チェックアウト:一年後にまた会うことを前提に今後のアクションを考えて発表

**NO17 まちビト・トーク#12**

●趣旨:「まちビト」と思われる人材にトークイベント形式でお話を伺いながら、その特性を捉えていきます。

●プログラム

第1部:プレゼンテーション

高野雄太:一社 おやまちプロジェクト 代表理事

テーマ:地域資源を生かした仲間づくりと交流の場づくり

世田谷区尾山台周辺の学生・住人・商店主・子供たちにより、交流スペースを作り、様々なイベントを行っているおやまちプロジェクトは、暮らしを今よりも面白く豊かにすることを目指して活動しています。

第2部:パネルディスカッション+意見交換会

**NO18 多摩地域の郊外住宅地のまちづくり交流セッション**

●趣旨:近年、高齢化等が進む郊外住宅地においてまちづくり動きが活発化しつつある。多摩地域のまちづくり協議会の方々、それを支援する学識経験者を招き、互いの活動を共有するとともに推進に当たっての知見と経験を共有することを目的とする。

●プログラム

1)各地区の取組紹介

玉川学園地区/小山田桜台団地/めじろ台地区

2)意見交換「持続可能なまちづくり活動の展開の秘訣」

コーディネーター:大月敏雄(東京大学)

野村知子(桜美林大学)

■9月の主な予定

①9月14日(水) 広報交流部会

②9月16日(金) 全まち実行委員会

③9月21日(水) これからのまちづくり研究会